

# 平成25年度 三条市特別活動部 活動報告

部長 高田 容夫

## 1 研究主題

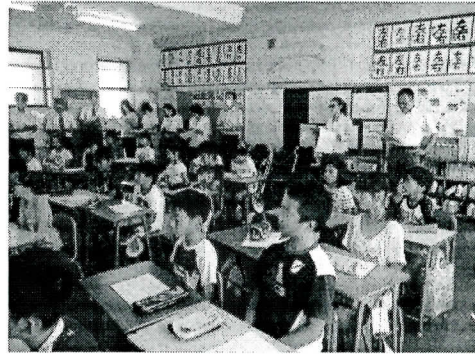
自治力を高める学級づくり ～学級会の展開の仕方～

## 2 研究の概要

- 学級会の価値とその進め方についての講演を聞いて、実践に向けて理解を深める。
- 講演内容を受け、部員各自が実践に取り組む。
- 大学の准教授を招いて、公開授業を基に協議会を開き、指導を受ける。

## 3 研究の実際

1回目の研修会では、講演を聞き、学級会の基本を学んだ。学級ではよりよい好ましい集団づくりが重要である。その大きな役割を担うのが学級会である。諸問題を解決し、より楽しい学級にするための計画を立てる際に学級会を機能させていく。話し合いを通して、子どもたち自身が方法を考え、合意し、実践してみる。このことが、自治力を高める上で大切であることを確認した。さらに、子どもたちの役割や必要な準備、事前指導の仕方など、より実践的なことを学ぶことができた。



2回目の研修会では、外部から講師を招き、公開授業（4年学級活動）を基に協議会を行った。「給食の残量を0にするため」の学級会であった。それぞれが考えを紙に書き、司会団が事前に2つの方法に絞り込んでおくところから話し合いは始まった。それぞれの主張と問題点が指摘され、新たな考えが加わった。協議会では、この場面の辺りが話題に取り上げられた。学級会の題材の選び方や考えの持たせ方、合意形成の仕方など、より実践的な話し合いがなされた。「この議題に子どもたちが問題意識を感じていたのか」「合意形成に向けて論点の整理の仕方は適切であったか」「教師の出番やタイミングはどうあるべきか」部員同士で積極的に意見が交わされ、考えを深めることができた。

講師である上越教育大学准教授の赤坂真二先生からは、1回目の講演内容と当日の授業を基にご講演いただいた。話し合いを通して合意形成する経験を積むことの大切さ、またその重要性を我々がそれぞれの学校で広げていく必要があることを強く感じる講演であった。

## 4 成果と課題

(成果)

- 今年度の研修では、好ましい人間関係を築いていく上で、学級活動（学級会）の果たす役割が大きいことを改めて実感することができた。
- 学級会を機能させるために必要なことや方法、留意点など、実践的な学びができた。

(課題)

- △ 多忙感を感じている職員が多い中、いかに学活の重要性を伝え、広めていくか。少しでも効率よく実践していくか。自分自身の実践を基に伝達していく必要がある。